



平成21年11月19日

各 位

会 社 名 東京海上ホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長 隅 修三
 (コード番号 8766 東証一部・大証一部)
 問合せ先 経営企画部広報IRグループマネージャー
 (東京海上日動火災保険株式会社広報部常駐)
 笠原 秀介 (TEL (03)5223-3212)

「平成21年3月期 決算記者会見資料」および「平成22年3月期 第1四半期決算短信」の一部訂正について

平成21年5月20日に公表した「平成21年3月期 決算記者会見資料」および平成21年8月11日に公表した「平成22年3月期 第1四半期決算短信」について、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

○「平成21年3月期 決算記者会見資料」28ページの一部訂正

3. 東京海上日動あんしん生命保険(株) 単体

(訂正前)

(7) ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末	当事業年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	249,760	<u>276,028</u>
<中 略>		
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	63,419	<u>76,733</u>
<中 略>		
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	18,054	21,259
<中 略>		
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$ (C)	2,766.7%	<u>2,596.7%</u>

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末	当事業年度末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	2,510,018	3,124,379
負債の部に計上されるべき金額の合計額 (2)	2,257,060	<u>2,805,864</u>
を基礎として計算した金額		
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	252,957	318,515
満期保有目的の債券・責任準備金対応 債券の含み損益 (4)	5,624	41,929
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	247,333	<u>276,585</u>

(訂正後)

(7) ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	前事業年度末	当事業年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	249,760	277,803
<中 略>		
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	63,419	78,509
<中 略>		
リスクの合計額 (B)	18,054	21,259
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2 + R_4}$		
<中 略>		
ソルベンシー・マージン比率 (C)	2,766.7%	2,613.4%
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$		

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項目	前事業年度末	当事業年度末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	2,510,018	3,124,379
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	2,257,060	2,804,089
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	252,957	320,290
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	5,624	41,929
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	247,333	278,360

○「平成22年3月期 第1四半期決算短信」30ページの一部訂正

(参考：東京海上日動あんしん生命保険(株)単体)

(訂正前)

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日現在)	前事業年度末 (平成21年3月31日現在)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	284,633	276,028
<中 略>		
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	86,924	76,733
<中 略>		
リスクの合計額 (B)	21,838	21,259
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2 + R_4}$		
<中 略>		
ソルベンシー・マージン比率 (C)	2,606.7%	2,596.7%
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$		

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項目	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日現在)	前事業年度末 (平成21年3月31日現在)
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	3,195,969	3,124,379
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	2,895,133	2,805,864
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	300,835	318,515
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	17,977	41,929
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	282,858	276,585

(訂正後)

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日現在)	前事業年度末 (平成21年3月31日現在)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	284,633	<u>277,803</u>
<中 略>		
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	86,924	<u>78,509</u>
<中 略>		
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2 + R_4}$ (B)	21,838	21,259
<中 略>		
ソルベンシー・マージン比率 (C)		
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,606.7%	<u>2,613.4%</u>

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項目	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日現在)	前事業年度末 (平成21年3月31日現在)
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	3,195,969	3,124,379
負債の部に計上されるべき金額の合計額 を基礎として計算した金額 (2)	2,895,133	<u>2,804,089</u>
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	300,835	<u>320,290</u>
満期保有目的の債券・責任準備金対応 債券の含み損益 (4)	17,977	41,929
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	282,858	<u>278,360</u>

以上